

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

<ul style="list-style-type: none"> . 理念に基づく運営 <ul style="list-style-type: none"> 1. 理念の共有 2. 地域との支えあい 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 4. 理念を実践するための体制 5. 人材の育成と支援 	項目数 11
<ul style="list-style-type: none"> . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 <ul style="list-style-type: none"> 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 	2
<ul style="list-style-type: none"> . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりの把握 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 	6
<ul style="list-style-type: none"> . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 <ul style="list-style-type: none"> 1. その人らしい暮らしの支援 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり 	11
合計	_____

訪問調査日 調査実施の時間	平成 20 年 3 月 14 日 開始 10 時 00 分 ~ 終了 16 時 00 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム ことぶき (福島県)
評価調査員の氏名	氏 名 松田節子 氏 名 河治清勝
事業所側対応者	職 名 管理者 氏 名 大平千鶴子 ヒアリングを行った職員数 (1) 人

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年4月16日

【評価実施概要】

事業所番号	770402311
法人名	有限会社ことぶきケアサービス
事業所名	グループホーム ことぶき
所在地	いわき市錦町川窪101-3 (電話) 0246-77-0181

評価機関名	NPO 福祉ネットワーク
所在地	いわき市錦町竹の花20
訪問調査日	平成20年 3月 14日

【情報提供票より】20年 3月 3日

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10人 常勤 1人, 非常勤 9人, 常勤換算 7.8

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り 1階建
------	--------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月 3日)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢	平均 84歳	最低	59歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	橋本医院、ゆうクリニック、おおひら歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

独自の理念を謙虚に受け止め、その人らしさ、その人のペースに寄り添ったケアは、まるで隣接する川の流れの如くおおらかでゆったりと安心感のある生活をモットーに日々、大切に刻まれているようであった。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価を基にスタッフ一同具体的実践に向けて努力している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価することでサービスの質の向上を再確認、意識付けができています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の活動報告、交流会で公的立場の意見を積極的に取り入れようと努めている。また、ホームのパンフレットや介護相談パンフレットを作成し、自治会の支援の下閲覧板で回すなど日々努力している。市町村の連携の機会作りも現在検討中である。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来所時に要望や意見を伺い、その都度報告、共有することで改善を図っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に働きかけ区長、民生委員の支援の下地域交流の機会の場合、事業所の役割分担を模索中である。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念をソフトなイメージで作成し、掲示している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	独自の理念を念頭に置き、実践に向けてスタッフ一同取り組む姿勢が見られた。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	2ヶ月に一度、グループホーム運営推進会議を開催し、交流を図っている。介護度の高い利用者やADLの低い利用者が多いため、地域活動参加よりもボランティアや学校の総合学習を取り入れて来所してもらっている。		ADLが低い利用者が多いため、外部参加よりも受容的支援の場のきっかけ作りをする。たとえば教育委員会へアピールし、子供避難所の登録をするなど地域住民への働きかけをしてみる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を基にスタッフ一同改善に向け取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度のグループホーム運営推進会議を開催することで、事業所からの報告、家族からの意見や要望の聞き入れに努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
/////////					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の生活状況は年3回の「ことぶき便り」で家族に送付しお知らせしている。金銭管理は毎月収支報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来所時にはお茶で温かく迎え、要望や意見を伺いやすい雰囲気づくりを心がけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日中夜間を通し顔馴染みのスタッフを配置している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回外部研修に参加し、カンファレンスで報告、ファイルすることで全スタッフが共有している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームと連携をとり、情報交換することでサービスの質の向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	可能な限り発揮できる力を引き出す介護が行われていた。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者の望む生活スタイルを維持している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者や家族の意向に沿った介護計画を作成し、日々実践している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月毎の見直しは勿論のこと、状態変化に伴う見直しも心がけて行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を重視し、診療の継続に努めている。また、緊急時に備えて協力医療機関がある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所の際、状態変化時の対応について家族の意見、意向を聞いて、全スタッフで共有体制が出来ている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりに合わせた言葉掛けや誘導を心がけていた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや体調に見合った支援がされていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を取り入れ、季節感ある旬の食材を利用するなど、見た目、食感に工夫されていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯の希望を取り入れているが、現在のところ希望者がおらず、利用者のペースに合わせた時間帯(午前か午後)週2回の設定になっていた。拒否する利用者に対してはスムーズに入浴できるよう、チームプレーがなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食後の下膳や食器洗い、洗濯物たたみなど、利用者の力量に合わせた支援がされていた。スタッフはその都度感謝の声かけをするなど、配慮に心がけていた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ADLに合わせた外出支援がされていた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はチャイムセンサーが設置され、一人ひとりの外出癖をを把握し、スタッフの見守りの徹底で鍵をかけないケアを実践していた。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を行い、緊急時マニュアルを作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別性のある食事配分がされており、食事量や水分量は介護日誌に記入し把握している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花々や和の調度品の数々が心なませている。歩行時の妨げになる物は置かないなどの配慮にも努めていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やベッドが持ち込まれ、整理整頓された居室空間が保たれていた。		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名	グループホームことぶき
記入担当者名	大平千鶴子

評価結果に対する事業所の意見
特に意見はありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。